

# 協同の叢見

第293号  
 2017.4

きょうどうのはっけん

特集

## 全国よい仕事研究交流集会2017

①

### ◎ 全国よい仕事研究交流集会2017 全体会

- ・ 基調提起 田中 羊子
- ・ 記念講演 「仕事-共に生き続けるために」 関野 吉晴
- ・ パネルディスカッションI  
 「協同労働がめざすよい仕事の本質は何か」  
 田中 麻衣 / 北側 利彦 / 馬場 義竜 / 岡元 ルミ子 / 今村 人美 / 森 みゆき / 曾山 悦子 / 東 百代 / 藤田 徹 / 大高 研道
- ・ パネルディスカッションII  
 「人と地域を結び動かすよい仕事-社会連帯経営と地域連帯経済の可能性」  
 石橋 妙子 / 村上 一枝 / 佐藤 真理子 / 鈴木 祥江 / 下村 朋史 / 大津 清次 / 古村 伸宏 / 伊藤 勲
- ・ 感想、コメント チェギョンスク / 稲垣 久和 / 田中 徹二
- ・ まとめ、閉会の挨拶 永戸 祐三

### ◎ 各事業本部事務局長から見た、各事業本部よい仕事研究交流集会・123集会報告

佐々木 あゆみ / 小澤 真 / 藤谷 英樹 / 田村 成秀 / 青柳 栄子 / 高成田 健 / 北川 裕士 / 杉浦 達夫 / 幡野 雄大 / 田代 明 / 小椋 真一 / 千葉 宣明 / 岡田 俊介 / 牛草 賢二 / 宇加治 哲朗

### ■ 海外レポート

田中 夏子 資料から読むイタリアの社会的経済(16)

「ボンテンピ(Bontempi)」ブランドで知られる楽器玩具メーカーが、労働者協同組合として再出発〜ワーカーズ・バイ・アウト ④



# 協同の発見

第293号 2017.4

## 特集 全国よい仕事研究交流集会 2017 ①

### 目次

#### 巻頭言

- 再び「協同」を学ぶ ..... 2  
 中川 雄一郎 (協同総合研究所 副理事長)

#### 特集 全国よい仕事研究交流集会2017 ①

- ◎全国よい仕事研究交流集会2017 全体会  
 -「社会連帯経営」の深化が「よい仕事」の全面的発展を促す
- ・基調提起 田中 羊子 (日本労協連 専務理事) ..... 6
  - ・記念講演「仕事-共に生き続けるために」 ..... 10  
 関野 吉晴 (探検家、人類学者、医師、武蔵野美術大学教授)
  - ・パネルディスカッションⅠ ..... 16  
 「協同労働がめざすよい仕事の本質はなにか」  
 報告者 田中 麻衣/北側 利彦/馬場 義竜/岡元 ルミ子/今村 人美/森 みゆき/  
 曾山 悦子/東 百代  
 コーディネーター 藤田 徹 コメントーター 大高 研道
  - ・パネルディスカッションⅡ ..... 35  
 「人と地域を結び動かすよい仕事-社会連帯経営と地域連帯経済の可能性」  
 報告者 石橋 妙子/村上一枝/佐藤 真理子/鈴木 祥江/下村 朋史/大津 清次  
 コーディネーター 古村 伸宏 コメントーター 伊藤 勲
  - ・ご来賓の方より 感想コメント ..... 56  
 ◇チェ ギョンスク (韓国保健福祉資源研究員・運営理事) 通訳: 友岡 有希 (日本労協連国際部)  
 ◇稲垣 久和 (東京基督教大学大学院教授)  
 ◇田中 徹二 (SDGs市民社会ネットワーク世話人、グローバル連帯税フォーラム代表理事)
  - ・まとめ・閉会の挨拶 永戸 祐三 (日本労協連 理事長) ..... 62
  - ◎事業本部事務局長から見た、各事業本部よい仕事研究交流集会・123集会報告 ..... 64  
 佐々木 あゆみ(北海道)/小澤 真(東北)/藤谷 英樹(北関東)/田村 成秀(東関東)/  
 青柳 栄子(東京北部)/高成田 健(東京東部)/北川 裕士(東京中央)/杉浦 達夫(東京南部)/  
 幡野 雄大(東京三多摩・山梨)/田代 明(神奈川)/小椋 真一(北陸信越)/千葉 宣明(東海)/  
 岡田 俊介(関西)/牛草 賢二(中四国)/宇加治 哲朗(九州)

#### 海外レポート

- 資料から読むイタリアの社会的経済(16) ..... 102  
 「ボンテンピ(Bontempi)」ブランドで知られる楽器玩具メーカーが、  
 労働者協同組合として再出発〜ワーカーズ・バイ・アウト④  
 田中 夏子 (協同総研理事/農)

- 労協連だより 田嶋 康利 ..... 110  
 研究所だより 上平 泰博 ..... 112



巻頭言

## 再び「協同」を学ぶ

中川 雄一郎 (協同総合研究所 副理事長)

私は2017年2月26日に明治大学で開催された「全国よい仕事研究交流集会」の第1分科会にコメンテータとして参加した。「さまざまな地域の『困りごと』に答えるなかで見てきたものは」と題された第1分科会では、学童保育、地域福祉それに緑化・廃棄物回収に関わる4つの協同事業について報告がなされた。私はこれらの報告から「協同の多様性と共通性、それに地域性」を垣間見ることができた。その点で、これらの協同事業報告はそれぞれ、地域コミュニティの人たちが「市民の権利と責任を意識する」ことの重要性和「安定した人間的なコミュニティを想像する」ことの重要性の双方を捉えていた、と私は評価している。私は、それ故、ワーカーズコープが「さまざまな地域の『困りごと』に答える」とは、ワーカーズコープによる「人間的な統治」(ヒューマン・ガバナンス)の実践に外ならない、と観ている。

「ヒューマン・ガバナンス」はより公正な社会的秩序を創り出し、かつそれを維持し、福祉のための物質的資源をより公正に配分し、文化的資源をより適切に活かしていく、という人間本

来の要求に応じていくことを意味する。そのことはまた、ヒューマン・ガバナンスがより広い範囲の市民による合意形成に基づいて遂行され、持続可能なものになっていくことを意味する。こうして、ヒューマン・ガバナンスはより公正な社会秩序を脅かす社会的な緊張関係の原因を打ち消すことができるのである。それ故、協同組合としてのワーカーズコープの「さまざまな地域の『困りごと』に答える」実践は、地域の人びとの自治、権利、責任・義務、参加に基づく一連の政策を通じて、また「社会生活の利益と負担を共有する」ことによって、さらには多様な社会的、経済的、文化的な諸資源を公正に配分し、かつ有効に管理運営する方法を提示することで持続可能な地域コミュニティを創出していくのである。

このワーカーズコープの実践をより具体的に表現すれば、協同組合としてのワーカーズコープは事業を通じて人びとの相互関係を厚くし、個人の生活・労働のあり方をより良好なものへと変えていくことによって、その延長線上にある地域コミュニティの経済-社会

のあり方をより公正なものへと高めていくことを本務とする、ということになろう。言い換えれば、協同組合事業が「非営利・協同」という「形式と秩序」を以て「一連の拡大する環(サークル)」として展開されることにより、ワーカーズコープ運動は「特定の運動から普遍的な運動になっていく」のである。それ故にまた、ワーカーズコープの事業と運動は人びとを排除しない「社会的包摂的意識」を常にその基礎として維持するのである。

協同組合の事業と運動の基礎にあるこの「社会的包摂的意識」は、こうして、「人間の本源的関係としての協力・協同のあり方」をお互いに学び合い教え合うよう協同組合人を励ますであろうし、したがってまた、彼らによってその行為が推し進められるであろう。その意味で、ワーカーズコープの「本務」とその「形式と秩序」も、またその「協同の多様性、共通性、そして地域性」もワーカーズコープの組合員によって創り出される「協同の意識」の何よりの滋養となっていくだろう。したがって、コメンテータ役の私の「仕事」は、協同組合の事業がそれに基づいて実践されなければならない「協同の形式と秩序」の何であるかを組合員参加者に自己意識化させることであった、と私は思っている。

ワーカーズコープは常に、個人の尊厳に基づく「個人的行為・行動の社会

的文脈」を再確認する。というのは、個人的行為・行動と社会的実践は相互に依存し合うが故に、個人は権利を行使し責任を遂行することによって民主主義の発展に必要な諸条件を再生産するからである。「よい仕事」の原点はここにあるのであって、したがってまた、ワーカーズコープの原点もそこに存在するのであり、組合員としての権利と責任が相補的に遂行されることによってワーカーズコープは「人びとが協力し協同することの自己意識」を確かなものにしていくのである。

私は、この「よい仕事研究交流会」のコメンテータ役としてどのような締め括りのコメントを提示すべきか少々迷ったが、結局、ゲーテの次のような言葉を以て括ることにした。一つは「人は、自分が理解しないことを自分のこととは思わない」という言葉であって、レイドロー報告にも引用されている。もう一つは戯曲『ファウスト』の有名な「はじめに行為(行動)ありき」という言葉である。この言葉は、ルターが訳した「はじめに言葉(ロゴス)ありき」をゲーテ(ファウスト)が言い変えたものであるが、実は、それは「言葉」と「こころ(思い)」と「力」を総合した「行為(行動)」であり、「世界をその最も奥深いところで<sup>す</sup>統べているもの何であるかを認識する」ことを意味するが、少々難しかったかもしれない。

協同総合研究所は、労働者、市民が自らの力で自律的に仕事と生活の豊かさを求める活動を支援するシンクタンクです。わが国にも「大量失業の時代」が到来する中で、労働者、市民が自主的に仕事おこしをする労働者協同組合(ワーカーズコープ)への注目が増えています。研究所は、わが国唯一の「労働者協同組合」に関する専門研究機関です。



研究活動をネットワークし、蓄積された情報を資源として支援する「協同の発見」を会員のみなさまに毎月お届けいたします。